令和４年度　琉球朝日放送株式会社主催

第45回　全国高等学校柔道選手権大会

　　　　　　　　ＱＡＢ紫雲旗争奪沖縄県大会要項

【大会要項】

　　　　　　　　　主　催：琉球朝日放送株式会社・沖縄県柔道連盟

　　　　　　　　　主　管：沖縄県高等学校体育連盟柔道専門部

　　　　　　　　　後　援：沖縄県スポーツ協会　沖縄タイムス社

１．期日・会場：2023年　1月28日（土）　　沖縄県立武道館　3階錬成道場

２．参加資格

（１）平成16年4月2日以降に生まれた者（令和3年4月2日現在で、18歳未満であり、第１・２学年に在籍）同一学年の出場は1回限りとする。

（２）参加選手は健康診断の結果異常のない者で学校長の参加申込を必要とする。

（３）全柔連登録を完了している者

（４）チーム編成において、全日・定時・通信の混成は認めない。

（５）「脳震盪」の取り扱いは以下の通りとする。

①大会1ヶ月以内に脳震盪受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場許可を得る事

②大会中に脳震盪を受傷した者は、当該大会に継続出場することを認めない。至急、脳神経外科の診察を受ける。

③当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対して、書面により事故報告を提出する。

３．参加制限

（１）団体戦

　　①男子：１校1チーム（監督1名、選手6名）とする。

　　②女子：１校1チーム（監督1名、選手3名、補欠2名）とする。

先鋒（52kg以下に登録した選手）個人は48．52．無差別のいずれかに登録可

中堅（63kg以下に登録した選手）個人は全ての階級に登録可

大将（無差別）

（２）個人戦

　　①男子：60kg、66kg、73kg、81kg級　各学校2名のエントリーを認める。

　　　　　　無差別級においては各学校4名のエントリーを認める。

　　②女子：48kg、52kg、57kg、63kg級　各学校2名のエントリーを認める。

　　　　　　無差別級においては各学校4名のエントリーを認める。

４．試合方法

(１)団体戦

(ア)男子の部

①トーナメント戦で行う。

②各チーム間の試合は、点取り試合とする。

③試合は各チーム5名で行う。試合ごとのオーダーの変更を認める。

④トーナメント戦の勝敗の決定は次による。

 ア 勝ち数の多いチームを勝ちとする。

イ アで同等の場合は、｢一本｣による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

ウ イで同等の場合は、｢技あり｣による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

エ ウで同等の場合は、代表戦を行う。 代表戦は代表選手を任意に選出して行う。

 (イ)女子の部

①トーナメント戦で行う。

②各チーム間の試合は、点取り試合とする。

③試合は各チーム３名で行う。試合ごとのオーダー変更は行わない。

④トーナメント戦の勝敗の決定は次による。

ア 勝ち数の多いチームを勝ちとする。

イ アで同等の場合は、｢一本｣による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

ウ イで同等の場合は、｢技あり｣による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

エ ウで同等の場合は、代表戦を行う。 **代表戦は「引き分け」対戦の中から抽選で選び、ゴールデンスコア方式の試合を時間無制限で行う。**代表戦は、「技あり」以上の得点があった時点、または、「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。なお、「引き分け」対戦がない場合は、両者「反則負け」などで勝敗がつかなかった対戦を代表戦とする。また、両チームが選手の負傷などで２名しかおらず、「引き分け」対戦がない場合などは、代表選手をすべての対戦の中から抽選で選出して、ゴールデンスコア方式の試合を時間無制限で行う。 ＊代表戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決する。 (２)個人試合(男子・女子)

(ア)体重別(4階級)及び無差別とする。

(イ)試合は、トーナメント戦とする。

５ 競技規則

 (１) 国際柔道連盟試合審判規定、(公財)全国高体連柔道専門部申し合わせ事項による。

①団体試合

ア 試合時間は３分間とする。

イ ｢優勢勝ち｣の判定基準は｢技あり｣または｢僅差｣（「指導」差２）以上とする。

ウ チームの内容が同等の場合は代表戦を行う。

②個人試合

ア 試合時間は３分間とする。

イ ｢優勢勝ち｣の判定基準は｢技あり｣または｢僅差｣（「指導」差２）以上とする。

ウ 試合終了時に得点差がない場合、もしくは、「指導」差が１以下の場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行う。延長戦は、「技あり」以上の得点があった時点、または、「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。 ＊「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、ゴール デンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、勝敗を決する。延長戦で「指導」の累積により 両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式 の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決する。

６．大会日程

　　8時00分　開場及び会場設営

　　8時20分～8時50分に計量を行う。但し、9時20分までの再計量を認める。

　　アップ時間　9時40分まで　　 9時40分　監督・審判会議

　　１０時　　　 開会式　　　　　10時10分～　試合開始

７．申込み〆切(2023年　１月　10日（火）　**17時まで　時間厳守)**

　所定のデータに入力をして、学校長の許可を得て、**メールにて申し込む事。**

（原本に関しては学校長印を押印の上、抽選会か大会当日に提出する）

　　沖縄県立読谷高等学校　具志堅　博也（体育科・柔道専門部委員長）

　　　メールアドレス　gushikhr@open.ed.jp

８．専門部会及び抽選会

　　日時・場所：2023年1月11日（水）那覇西高校　演習室

　　抽 選 会：15時00分～（柔道専門委員の先生方の参加となります。）

９．参加費

　　男女団体　各校１チームにつき　　　　５０００円

　　男女個人戦　エントリー１名につき　　１０００円

　大会当日、高体連会計担当へ納入をしてください。（放送にて呼びかけをいたします）

１０.選手変更

（１）参加申し込み後の団体戦選手変更は１名を限度とする。但し感染症その他天災による場合は適用しない。

（２）女子団体において、登録した選手を抹消する場合は、すでに申し込みをした補欠をその位置に補充し、新たに登録する選手は補欠に入れる。

（３）女子団体において、補欠に５２ｋｇ以下の選手登録していない状態で、先鋒（５２ｋｇ以下）を抹消する場合、及び補欠に６３ｋｇ以下の選手を登録していない状態で、中堅（６３ｋｇ以下）を抹消する場合は、新たに登録する選手を直接、先鋒あるいは中堅に入れることができる。

（４）参加申込み後に変更が生じた場合は、大会当日９：００までに　高体連柔道専門委員長の具志堅博也まで届け出ること。